

【ロコモ 25 の欠損値についての取扱いの推奨について】

- ・ロコモ 25 を用いた研究における欠損値補完は、欠測メカニズムを考慮した方法（多重代入法など）が最も望ましい。

しかし、全体として欠損値のある人が 40%以下である場合、欠損値の数が 8 個以内の対象者においては、個人の欠損値以外の平均値を代入する単一代入法で代替しても差し支えない。

- ・個人にロコモ 25 の数値をフィードバックする場合、欠損値が 8 個以下であれば欠損値以外の平均値を代入する単一代入法での結果を参考値とすることは差し支えない。

例) 3 個欠損の場合、 $(\text{測定されたロコモ 25 の総計} \div 22) \times 25 = \text{ロコモ 25 の結果 (参考値)}$

(文献) Kawahara T, Yamada K, Terashima R, Takashima I, Tanaka S, Ogata T, Chikuda H, Miura H, Nakamura K, Ohe T. Practical guidance to handle missing values in the 25-question Geriatric Locomotive Function Scale (GLFS-25): a simulation study. *BMJ Open*. 2022 Dec 26;12(12):e065607. doi: 10.1136/bmjopen-2022-065607. PMID: 36572490; PMCID: PMC9806098.